

意見聴取の方法

1. 基本的な考え方

＜意見聴取の対象者＞

- 1) 学識経験を有する者
- 2) 関係住民
- 3) 関係県知事及び関係市町長

＜意見聴取の手順＞

- ・それぞれの対象者から個々に実施
- ★透明性、公平性の確保に留意

2. 意見聴取の方法

1) 学識経験を有する者からの意見聴取(河川法16条の2)

- ◆ 学識経験者から構成される「**明日の高梁川を語る会**」を設置し、意見聴取
- ◆ 会議は公開とし、会議資料、議事録は後日、岡山河川事務所ホームページに掲載
- ◆ 懇談会会場は、高梁川流域内の公共会議場等を活用

2) 関係住民からの意見聴取(河川法16条の2)

- ◆ 「**地域と共に明日の高梁川を考える会**」の開催、アンケートの実施等により
広く積極的に意見を聴取 (河川法16条の2)
- ◆ 「地域と共に明日の高梁川を考える会」は、流域内(国管理区間)の2市(倉敷・総社市)の
7箇所で開催 (河川法16条の2)
- ◆ アンケートは、事務所ホームページや新聞折込での配布、公的機関等での配布により実施
・新聞折込については、流域内だけでなく、高梁川、小田川の浸水想定区域
(岡山市除く)も対象とし、**倉敷市・総社市・浅口市・早島町に配布**

3) 関係県知事及び関係市町長からの意見聴取(河川法16条の2)

- ◆ **河川整備計画案に対する意見聴取**など適宜実施

アンケートの実施方法 1

1. 目的

- ◆ 高梁川水系(国管理区間)の現状と課題および河川整備に対する**意見を幅広く住民から聴取**

2. アンケート対象者

- ◆ 国管理区間の高梁川、小田川の浸水想定区域を網羅する**流域住民**
- ◆ アンケートの趣旨、内容をある程度理解できると考えられる**高校生以上**

3. 配布資料

以下の資料を**タブロイド版**で作成し配布する

- ◆ 河川の現状と課題を説明した**リーフレット**
- ◆ **アンケート票**

4. 集約期間

- ◆ 平成19年11月中旬 ~ 平成20年1月末日

5. 配布方法

- 1) **新聞**への折込み
- 2) 小中学生学童を通じた**保護者**への配布
- 3) 公共機関等に常設
- 4) FM局、テレビ局に常設



高梁川水系の川づくりに関するアンケートにご協力をお願いします。

高梁川では、今後20～30年間にこころなう**国管理区間**を対象とした、具体的な河川整備の計画を「河川整備計画」としてまとめます。
河川整備計画は、皆さまのご意見を反映させたいと考えています。皆さまの貴重なご意見をお寄せください。
なお、本アンケートの結果は、上記の目的以外には一切使用致しません。
また、お寄せいただくご回答は無記名として、統計的な処理を行いますので、皆様にご迷惑をおかけすることは一切ございません。

【ご記入にあたってのお願い】

- ご回答は、原付のハガキにご記入ください。
- ご回答は、各質問に「つ」とか「すべて」などと指定されていたいてありますので、それに従ってお答えください。
- ご記入済みのハガキは、平成20年1月末日までに、ご返却下さい。
(切手は不要です)
- なお、本調査に関する問い合わせ等は、お手数ですが下記までお願いします。

【お問い合わせ先】
国土交通省 中国地方整備局
岡山河川事務所 高梁川みらいプロジェクト
〒700-0914 岡山市南区田町2丁目4番36号
TEL (086)224-5101 (代表)
FAX (086)224-7636
E-mail info@okakawa-mli.tgo.jp

河川名	国管理区間
高梁川	河口～津波津橋まで 延長12.5km
小田川	高梁川合流点～国境線の川上流まで 延長17.9km
高梁川	津波津橋～小田川合流点まで 2km

アンケート票

アンケートの実施方法 2

1) 新聞折込

- ◆ 新聞折込エリア
倉敷市・総社市
浅口市・早島町
(高梁川、小田川の
浸水想定区域を対象)

- ◆ 配布部数
約16万5千部



2) 小中学校を通じた配布

- ◆ 対象
倉敷市・総社市の学童の保護者
- ◆ 配布部数
約3万2千部

3) 公共機関に常設

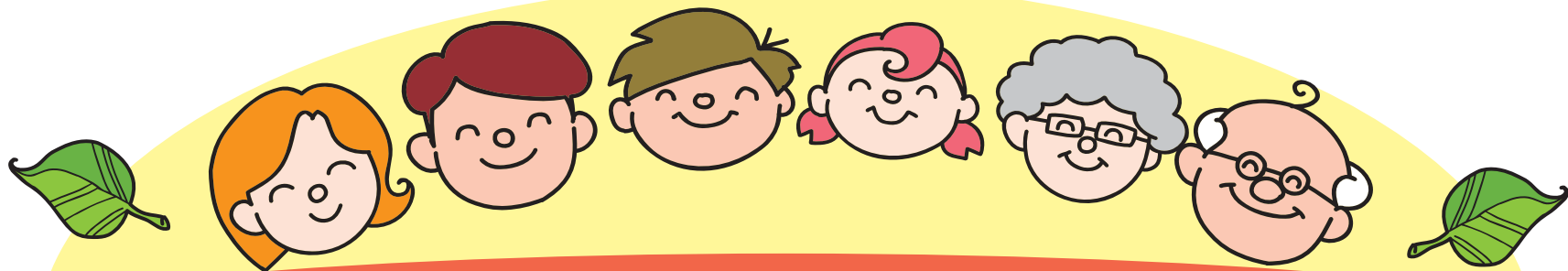
- ◆ 常設場所
倉敷市・・・市役所、支所(5箇所)
総社市・・・市役所、支所(2箇所)
公民館(5箇所)
岡山県・・・県庁、備中県民局
国土交通省・・・岡山河川事務所
高梁川出張所

4) FM局、テレビ局に常設

- ◆ 常設場所
FMくらしき、倉敷ケーブルテレビ

6. アンケート内容

- ◆ 治水整備・・・洪水経験の有無、治水のハード整備、ソフト対策で重要な事項を問う
- ◆ 水利用・・・湯水被害の有無、水利用に向けたハード整備、ソフト対策で重要な事項を問う
- ◆ 環境・・・高梁川または小田川の自然環境のイメージ、河川環境の課題について問う
- ◆ 河川利用・・・利用経験の有無、河川利用の課題、必要と考える整備や改善策について問う
- ◆ 維持管理・・・河川清掃への参加の有無、維持管理の方法について問う
- ◆ その他・・・整備計画全体を通しての意見や要望を記述してもらう



～聞かせてほしい。みんなの声!～

高梁川水系の川づくりに関するアンケートにご協力ください。

【お問い合わせ先】

国土交通省 中国地方整備局 岡山河川事務所 高梁川みらいプロジェクト
 〒700-0914 岡山県岡山市鹿田町2丁目4番36号
 TEL (086)223-5101(代表) FAX (086)222-7835
 E-mail info@okakawa-mlit.go.jp

高梁川の概要については、
 ホームページでもごらんいただけます。
 【岡山河川事務所ホームページ】
<http://www.okakawa-mlit.go.jp/seibi/taka.html>

アンケート調査

高梁川のすがた

流域の概要

高梁川は鳥取県境付近の花見山(1,118m)に源を発し、途中、成羽川、小田川の大支川を合流し、水島灘に注いでいます。

数値でみる高梁川流域

【流域面積※集水面積】

2,670km² (全国23位)
 (中国地方2位)

【幹川流路延長※】

111km (全国44位)
 (中国地方5位)

【流域内人口】

約27万人

【想定はん濫区域※内人口】

約44万人

【流域内市町】

9市3町(倉敷市、高梁市など)

※)の用語はアンケート用紙に説明を記載しています。
 ※)順位は一級河川のみを対象としています。

高梁川流域の概要



高梁川流域の概要

高梁川と地形特性

下流は緩やかだが、上流は急峻な地形となっています。

高梁川は新見市付近より上流は急勾配であり、それより下流は大きな支川を集めながら比較的緩やかに山間部を流下します。国管理区間においては、この山間部に集められた流水が、堤防によって守られた市街地区間に一気に流れ込むため、堤防が壊れてはん濫が生じた場合には大災害となるおそれがあります。

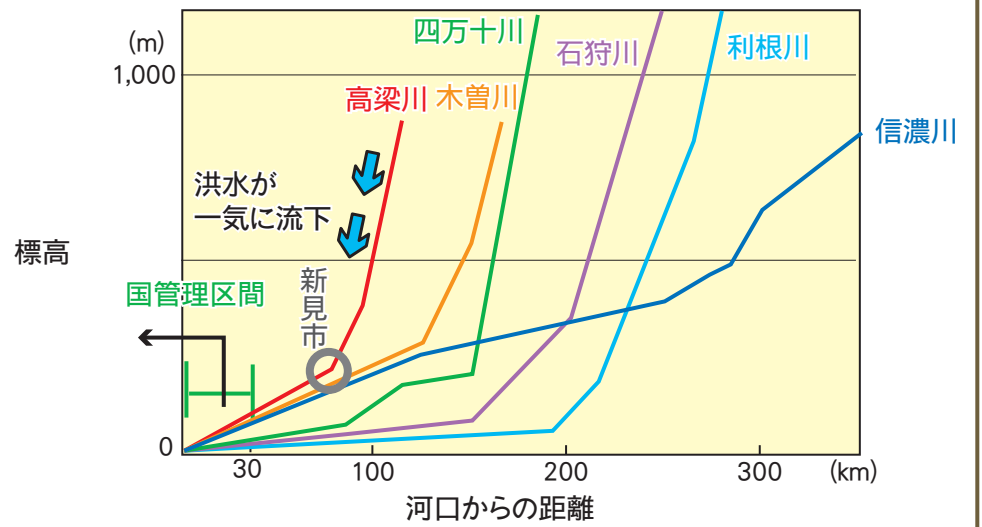
下流部は、干拓や埋め立てにより形成された標高の低い地域で都市化されています。

下流部は干潟の干拓や埋立てにより形成されたゼロメートル地帯を含む低平地であり、市街地となっています。そのため、洪水被害が大きくなるおそれがあります。また、高潮※による浸水被害も受けやすい区域です。最近では平成16年8月の台風16号により高潮被害が生じています。※の用語はアンケート用紙に説明を記載しています。

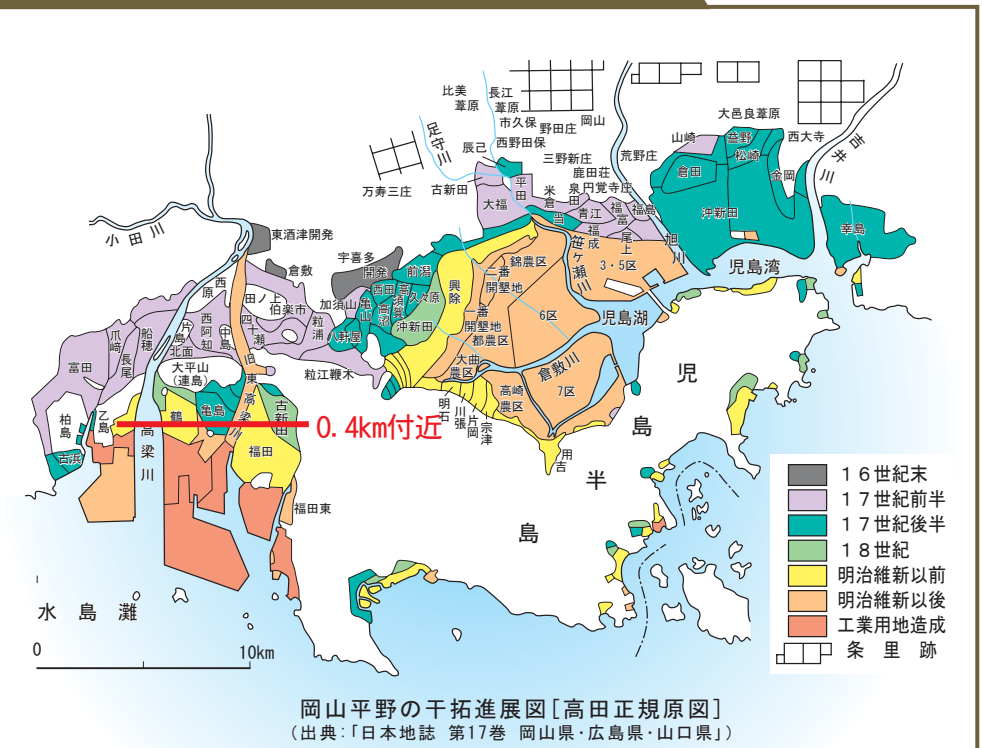
平成16年8月台風高潮被害



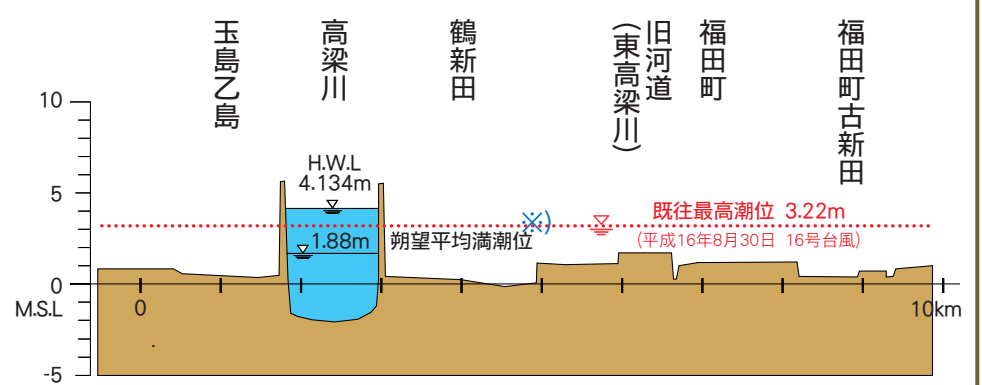
高梁川と主要河川の勾配の比較



干拓と埋め立てでできた岡山平野



0.4km付近の断面図



主な洪水被害

数値でみる昭和以後の洪水

順位	発生年	日羽流量 (m ³ /s)	降雨量(2日間) (mm)	日羽水位 (m)	原因
1位	S9.9.21	6,360	173	不明	台風
2位	S47.7.12	5,660	305	8.38	梅雨
3位	S20.9.17	5,630	201	不明	台風
4位	S55.8.31	5,200	132	9.62	前線
5位	H18.7.19	4,330	174	9.95	梅雨

主な洪水被害の区域



※の用語はアンケート用紙に説明を記載しています。

災害と洪水被害の特性

明治26年10月洪水

船穂地点流量 14,900m³/s
 床下・床上浸水 50,209戸(岡山県内)
 全半壊 12,920戸(岡山県内)
 死者・不明者 423人



倉敷市真備町川辺字辻尾(高梁川右岸15k付近)



倉敷市真備町川辺の堤防決壊状況

昭和47年7月洪水

日羽地点流量 5,660m³/s
 床下/床上浸水 5,203戸/2,144戸
 全半壊 227戸(岡山県内)
 死者・不明者 15人



高梁市のはん濫状況



洪水の流下時に妨げとなる堰

高梁川において洪水の流下の際に障害となる堰が存在します。どの堰も川底から飛び出した形状のため、洪水時には堰上流で水位が上昇し、高梁川が溢れる可能性があります。洪水をスムーズに流すことができる新しい堰への改修が必要になっています。



整備が必要な堤防

高梁川の下流の堤防は明治26年の大洪水の後に整備され、現在の形になりました。しかし、堤防そのものの幅が不足している箇所が多くあります。また、川の砂利を使ってつくられているため、増水時には漏水※による水の吹き上げも発生しています。



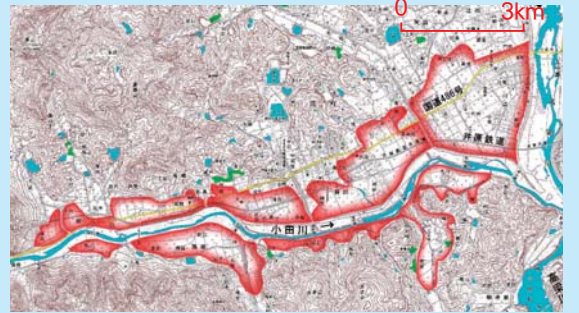
吹き上げ(居住地側の地面から水が吹き出る)の状況



小田川の浸水被害

小田川の流れはゆるく、洪水時には高梁川の合流点で水位が上昇し、小田川の水位が高い状態が長時間続きます。これにより周辺地域の排水が困難となり浸水被害が生じます。

- 浸水面積: 67.6ha (後樂園の5倍)
- 浸水家屋数: 587戸



昭和51年9月洪水による小田川沿いの浸水区域

※)の用語はアンケート用紙に説明を記載しています。

高梁川・小田川の河川利用



かつての舟運

「高瀬舟が輸送の主役」

高梁川の中流域は、峡谷が多く、陸路が不便であったため、江戸から大正時代にかけて、高瀬舟が輸送の主役を担っており、上流の新見や東城にも往来していました。



高瀬舟が往来していた。



現在の利用 「運動公園等が整備され、スポーツの利用が多い」

【河川利用】

1位 スポーツ利用

25万人 (中国地方1位)



グラウンド(少年野球)



アユ釣り



河川公園

【総利用者数】

48万人 (中国地方5位)



グラウンド(少年サッカー)



ウインドサーフィン



水辺の楽校(総社、清音、真備地区)

*)平成15年調査

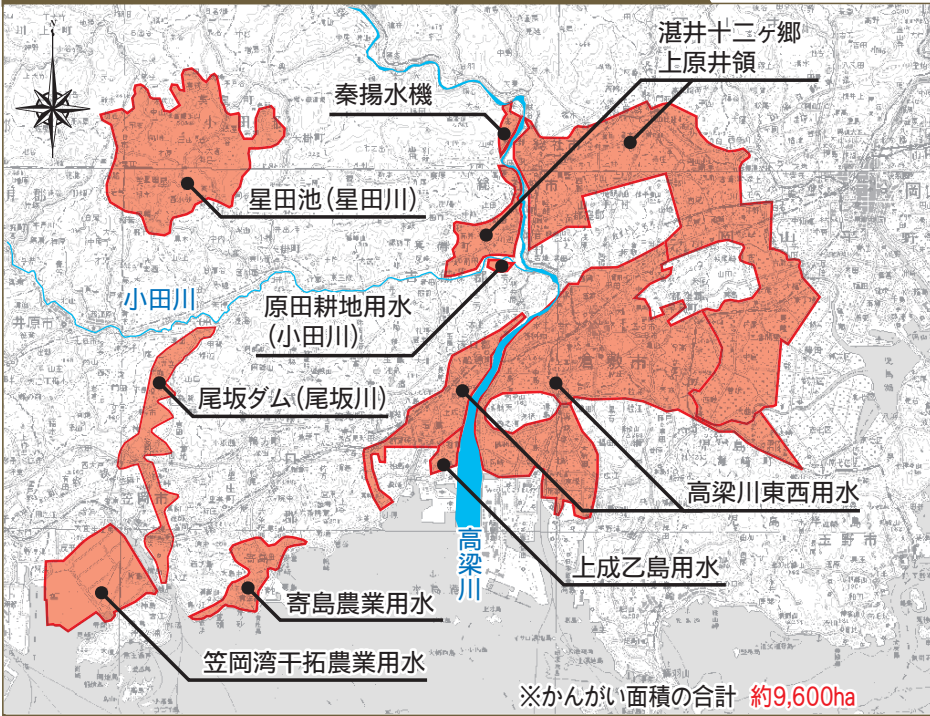
河川利用

水利用

水利用

※) 下流部の取水堰では、「かんがい用水」、「工業用水」、「水道用水」の取水が行われ、遠隔地の香川県直島町にも水道用水を送水しています。
※)の用語はアンケート用紙に説明を記載しています。

高梁川下流部のかんがい区域図

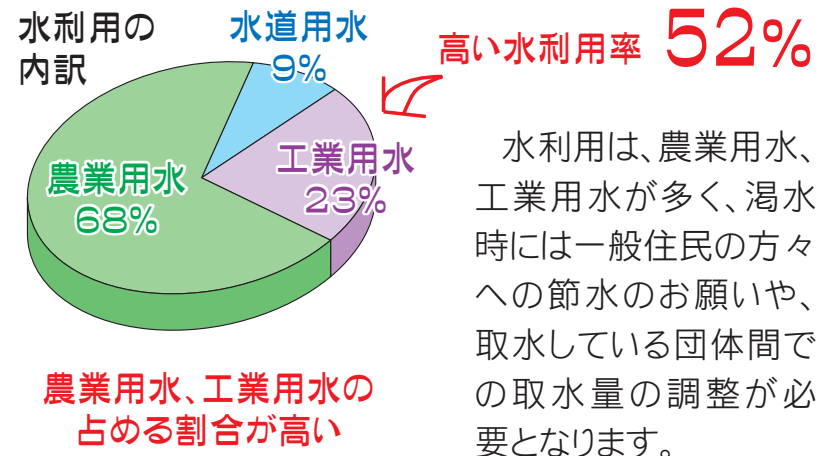


平成6年渇水時の高瀬川ダム



水利使用者相互間の調整円滑化等を推進し、渇水等の発生時の被害を最小限に抑える必要があります。

高梁川の水利用の割合

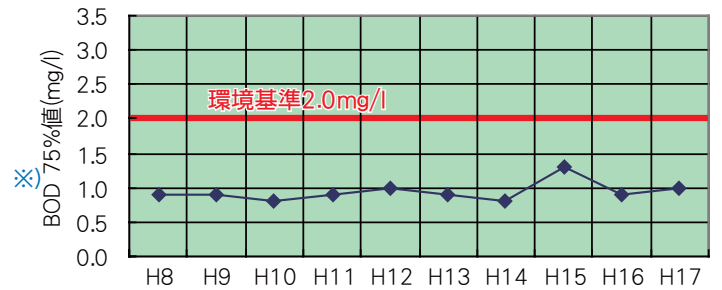


水利用は、農業用水、工業用水が多く、渇水時には一般住民の方々への節水のお願いや、取水している団体間での取水量の調整が必要となります。

高梁川の水質

水質は良好で、近年おおむね環境基準値※)を満足しています。

高梁川の水質(湛井堰)



※)の用語はアンケート用紙に説明を記載しています。

自然環境

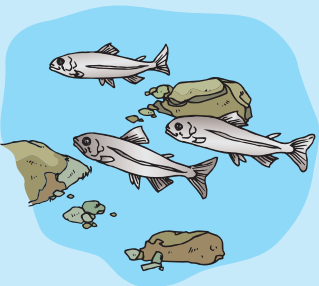
高梁川流域の自然環境



【高梁川】国管理区間上流端～潮止堰

瀬淵と砂州が連続する
緩やかな流れ

- 砂れきの多い瀬が連続し、アユやオイカワが生息しています。
- 堰の上流などでは外来種となる大型の魚類であるオオクチバスやブルーギルが多数確認されています。
- 川の中の砂州には、オギ、タコノアシ、カワヂシャなどの水辺に生育する植物がみられます。



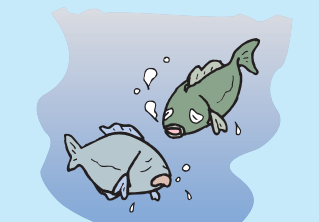
【高梁川】潮止堰～河口

- 広大な水面と感潮区間
- 汽水域に生息するヒイラギやコノシロなどの魚類がみられます。
 - 広い水面は、ズグロカモメ、カモ類などの冬鳥の採餌場となっています。

【小田川】国管理区間上流端～高梁川合流点

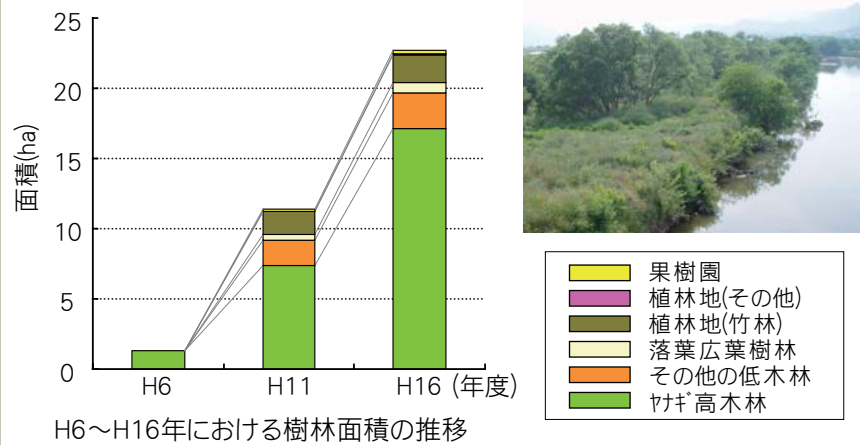
緩やかな流れと多様な水辺環境

- みお筋にはタナゴ類や稚魚をはじめとして、多くの生物の生息・成育場となっています。一方では河川と連続する水路などとの移動がしにくくなってきており、タナゴ類などの減少が懸念されています。



小田川の樹林化の現状

※) 河川敷を中心にヤナギの高木などの樹木が近年10年間で急激に増加しています。樹木の増加は増水時の流れを阻害したり、一部が流木となり橋梁地点で川をふさぎ、河川の水位をせき上げるなどの悪影響をおよぼす可能性があります。



※)の用語はアンケート用紙に説明を記載しています。

高梁川水系の川づくりに関するアンケートにご協力おねがいします。



高梁川では、今後20～30年間におこなう**国管理区間**を対象とした、具体的な河川整備の計画を「河川整備計画」としてまとめます。

河川整備計画は、皆さまのご意見を反映させたいと考えています。皆さまの貴重なご意見をお寄せください。

なお、**本アンケートの結果は、上記の目的以外には一切使用致しません。**

また、お寄せいただくご回答は無記名として、統計的な処理を行いますので、皆様にご迷惑をおかけすることは一切ございません。

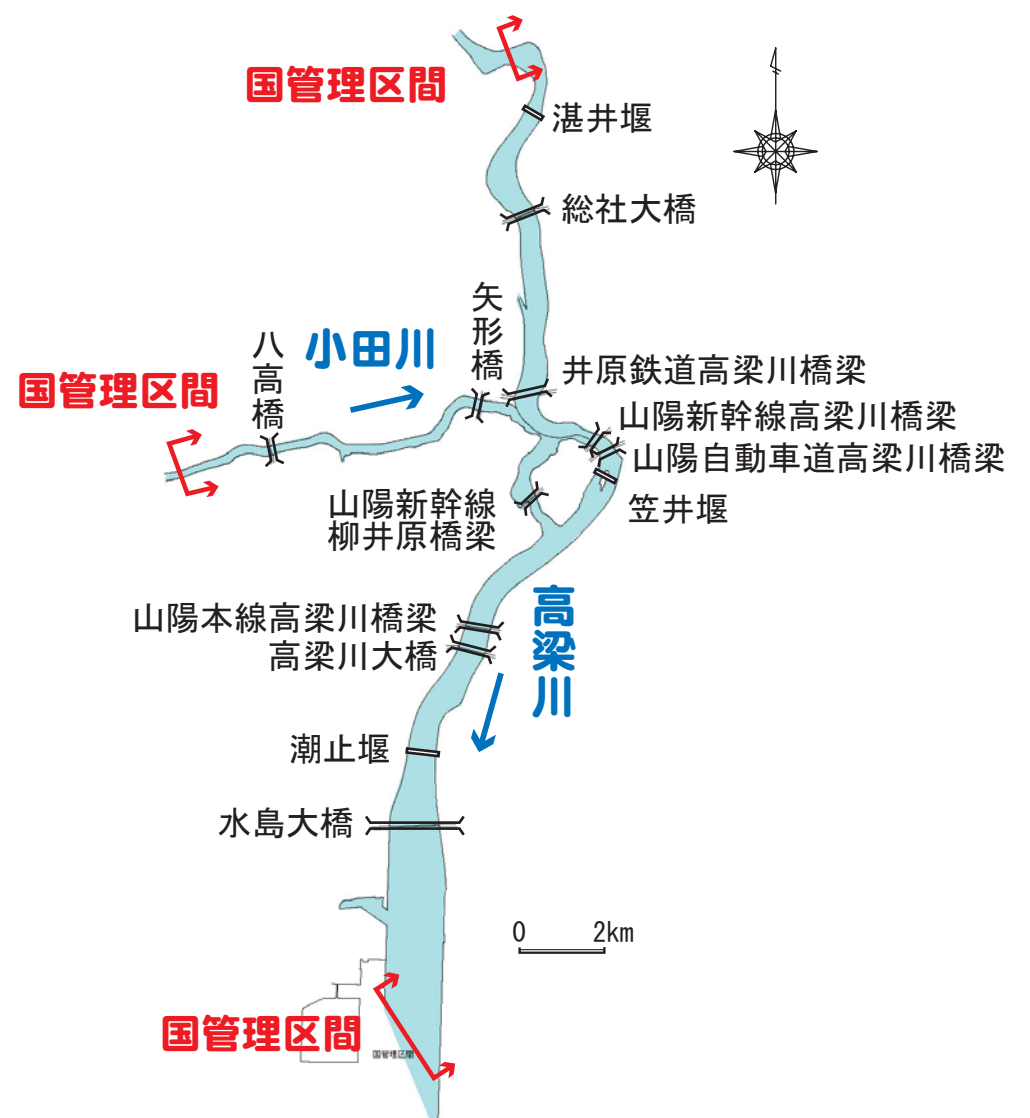
【ご記入にあたってのお願い】

- ご回答は、添付のハガキにご記入ください。
- ご回答は、各質問に「1つ」とか「すべて」などと指定させていただいておりますので、それに従ってお答えください。
- ご記入済みのハガキは、**平成20年1月末日までに、ご投函下さい。**
(切手は不要です)
- なお、本調査に関する問い合わせ等は、お手数ですが下記までお願いします。
- 文中に※)がついている用語は、アンケート用紙の裏面に説明があります。

【お問い合わせ先】

国土交通省 中国地方整備局
岡山河川事務所 **高梁川みらいプロジェクト**

〒700-0914 岡山市鹿田町2丁目4番36号
TEL (086)223-5101 (代表)
FAX (086)222-7835
E-mail info@okakawa-mlit.go.jp



河川名	管理区間
高梁川	河口～豪溪秦橋まで 延長＝26.5km
小田川	高梁川合流点～琴引橋の少し上流まで 延長＝7.9km
高梁川派川	高梁川合流点～小田川合流点まで 延長＝2.0km (柳井原貯水池)

問1) あなたは高梁川と小田川のどちらを身近に感じますか。(あてはまるもの1つに○をつけて下さい)

- ① 高梁川 ② 小田川

問2) 河川があふれ、お住まいや農地などが浸水する被害を受けたことがありますか。(あてはまるもの1つに○をつけて下さい)

- ① ある ② ない

問3) 洪水や高潮[※]に対して安全であるために大事と思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○をつけて下さい)

- ① 堤防のない個所に新たな堤防を作る ② 今の堤防をさらに強固にする
③ 低い堤防に土を盛って高くする ④ 川にたい積している土砂を掘り取る(河床掘削)
⑤ 川の中の樹木の伐採 ⑥ 堰の改築
⑦ 内水排除ポンプ[※]の整備 ⑧ 高梁川、小田川との合流点付近の水位を下げる
⑨ その他()

※の用語は、アンケート用紙の裏面に説明があります。

問4) 洪水・高潮[※]などの情報提供の取り組みについてお聞きします。洪水や高潮時に必要と思われる情報は何か。(あてはまるものすべてに○をつけて下さい)

- ① 現時点の河川の水位
② 今後の河川水位の予測
③ 地域の浸水発生状況(どこがどの程度浸水しているか)
④ 洪水・高潮ハザードマップ[※]
⑤ 避難勧告の情報
⑥ その他()



※の用語は、アンケート用紙の裏面に説明があります。

問5) 高梁川または小田川の水量や水質、風景についてどのように感じていますか。(あてはまるもの1つに○をつけて下さい)

問5-1) 通常時の水量

- ① とても多いと感じる ② やや多いと感じる ③ どちらともいえない ④ やや少ないと感じる ⑤ とても少ないと感じる ⑥ わからない

問5-2) 水のきれいさ

- ① とてもきれいと感じる ② ややきれいと感じる ③ どちらともいえない ④ やや汚いと感じる ⑤ とても汚いと感じる ⑥ わからない

問5-3) 川辺の風景

- ① とても美しいと感じる ② やや美しいと感じる ③ どちらともいえない ④ やや美しくないと感じる ⑤ とても美しくないと感じる ⑥ わからない

問6) 現在の環境をどのように感じていますか(あてはまるもの1つに○をつけて下さい)

問6-1) 魚や昆虫、鳥、植物などが多く、自然豊かな感じのする川である。

- ① そう思う ② そう思わない ③ どちらともいえない ④ わからない

問6-2) 川岸がコンクリートで固められた人工的な感じのする川である。

- ① そう思う ② そう思わない ③ どちらともいえない ④ わからない

問6-3) 雑草が多く、荒れている感じのする川である。

- ① そう思う ② そう思わない ③ どちらともいえない ④ わからない

問6-4) 瀬(浅い流れのところ)や淵(深いところ)があり、流れが変化に富んでいる感じのする川である。

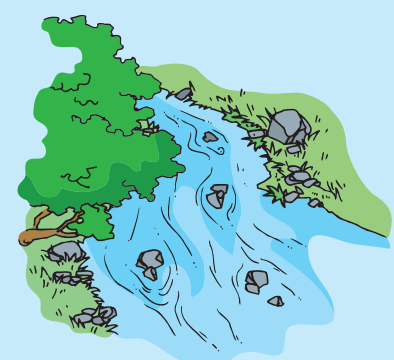
- ① そう思う ② そう思わない ③ どちらともいえない ④ わからない

問6-5) 今のまま改変しないほうがよいと思う。

- ① そう思う ② そう思わない ③ どちらともいえない ④ わからない

問7) 高梁川または小田川の望ましい環境を保全したり復元するためにはどのようなことが必要ですか。(あてはまるものすべてに○をつけて下さい)

- ① 魚のすみかを増やしたり、水辺の植物の復元などを行い、川の中の自然環境を改善する
② 川の整備をするときは、可能な限り自然に配慮する
③ 堤防や河川敷[※]の草刈りをする
④ 川の中に生えている木を伐採する
⑤ 今のまま何もしない
⑥ その他()



※の用語は、アンケート用紙の裏面に説明があります。

問8-1) 高梁川または小田川を散策やレジャー、イベントなどで利用したことがありますか。(あてはまるもの1つに○をつけて下さい)

① ある

② ない

問8-2) どのような目的で利用しましたか。(あてはまるものすべてに○をつけて下さい)

- ① 散策
- ② 釣り
- ③ 水泳や水遊び
- ④ バーベキュー
- ⑤ カヌー・ボートなどの水上スポーツ
- ⑥ 野球やテニスなどの陸上スポーツ
- ⑦ 写真撮影やスケッチ
- ⑧ バードウォッチング
- ⑨ 祭りや伝統行事
- ⑩ その他()

問8-3) 利用しない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○をつけて下さい)

- ① 川の中に下りることが難しいから
- ② ゴミが多く川が汚れているから
- ③ 利用したい施設がないから
- ④ 人工的で自然が感じられないから
- ⑤ 川に対する興味がないから
- ⑥ 河川の利用のしかたが分からないから
- ⑦ 駐車場がないから
- ⑧ トイレがないから
- ⑨ 家や職場と川が離れているから
- ⑩ その他()

問9) 利用したくなる川にするためには、どのように改善すればよいですか。(あてはまるものすべてに○をつけて下さい)

- ① 階段や坂路[※]を増やし、水辺に近づきやすくする
- ② 河川敷[※]でくつろげる、憩えるような整備を行う
- ③ 河川敷にスポーツ施設や散策道、自転車道を整備する
- ④ 水際で川とふれあい、自然と親しめるような整備を行う
- ⑤ 河川利用に関する情報提供をする
- ⑥ 河川敷などに駐車場を整備する
- ⑦ 河川敷などにトイレを整備する
- ⑧ 何もしなくてよい
- ⑨ その他()



※の用語は、アンケート用紙の裏面に説明があります。

問10) 河川利用に対するご意見やご要望があれば、ハガキの回答欄に記入してください。

問11) 濁水になって水道の給水制限[※]や農作物への被害を受けたことがありますか？(あてはまるもの1つに○をつけて下さい)

- ① ある
- ② ない

※の用語は、アンケート用紙の裏面に説明があります。

問12) 水道用水、工業用水、農業用水などを安定的に確保するために大事と思うことは何ですか。(あてはまるもの1つに○をつけて下さい)

- ① すでにあるダムの再整備や新しいダムの整備
- ② 農業用のため池などの整備
- ③ 取水堰[※]の整備
- ④ その他()

※の用語は、アンケート用紙の裏面に説明があります。

問13) 適正な水利用のために大事と思うことは何ですか。(あてはまるもの1つに○をつけて下さい)

- ① 各家庭での水の使い方(節水など)
- ② 農業用水、工業用水、水道用水などの取水量が公平になるように調整する
- ③ 水利用者の情報連絡会などの活動
- ④ その他()

問14) 高梁川や小田川の除草、清掃などの維持管理の方法についてどのようにお考えですか。

(あてはまるもの1つに○をつけて下さい)

- ① 河川管理者(国や県)がすべて責任をもって実施する
- ② 地域住民と河川管理者(国や県)が協働で実施する
- ③ 地域住民が中心となり実施する
- ④ 河川を利用する人が実施する
- ⑤ その他()

問15) 河川清掃に参加したことがありますか。(あてはまるもの1つに○をつけて下さい)

- ① ある
- ② ない

問16) 高梁川、小田川の整備に対するご意見やご要望があればハガキ裏面の解答欄に記入してください。

【アンケートの回答はこのはがきにご記入ください】

- 【問1】 1・2
- 【問2】 1・2
- 【問3】 1・2・3・4・5・6・7・8・9 ()
- 【問4】 1・2・3・4・5・6 ()
- 【問5-1】 1・2・3・4・5・6
- 【問5-2】 1・2・3・4・5・6
- 【問5-3】 1・2・3・4・5・6
- 【問6-1】 1・2・3・4 【問6-2】 1・2・3・4
- 【問6-3】 1・2・3・4 【問6-4】 1・2・3・4
- 【問6-5】 1・2・3・4
- 【問7】 1・2・3・4・5・6 ()
- 【問8-1】 1・2
- 1を選んだ方→【問8-2】 1・2・3・4・5・6・7・8・9・10 ()
- 2を選んだ方→【問8-3】 1・2・3・4・5・6・7・8・9・10 ()
- 【問9】 1・2・3・4・5・6・7・8・9 ()
- 【問10】
- 【問11】 1・2
- 【問12】 1・2・3・4 ()
- 【問13】 1・2・3・4 ()
- 【問14】 1・2・3・4・5 ()
- 【問15】 1・2

→ 裏面につづく (ハガキ裏面もご記入ください)

河川用語集

流域および流域面積

降った雨が対象としている河川(この場合は高梁川)に流入する範囲(地域)のことです。集水区域と呼ばれることもあり、その面積を流域面積と呼びます。

幹川流路延長

流域の中には複数の河川が流れていますが、その河川の中で流量・流域面積の大きいものを幹川といい、幹川の源流から河口までの距離のことです。

想定はん濫区域

計画で設定している雨が降ったときに、浸水が想定される最大の範囲のことです。

高潮

台風や発達した低気圧により、海水面が吸い上げられ異常に高くなる現象です。

朔望平均満潮位

大潮のときの最高満潮位を1年以上にわたって平均した高さのことです。

漏水

川の中を流れている洪水の水が川の堤防より居住地側にもれだすことです。

取水堰

川をせき止めて、用水路などに水を引き入れるための施設です。

環境基準値

人の健康や生活環境を保全するために維持することが望ましい基準です。河川の場合は、川の利用目的に応じて複数のランクに分かれています。国管理区間の環境基準値は、湛井堰より上流側では、A類型(BOD 2mg/l以下)、湛井堰より下流側、小田川では、B類型(BOD 3mg/l以下)となっています。

BOD

水中にある汚れを微生物の働きによって分解するときに消費される酸素の量のことです。川の水がどの程度汚れているかを表すための代表的な尺度です。BODが大きければ水が汚れていることを表します。

河川敷

堤防の川側に位置し、ふだんの雨が少なくなると水は流れませんが、大雨により川の水位が上昇したときに水が流れる空間のことです。

内水排除ポンプ

河川に流すことができず川沿いの居住地などに貯まった水を排除するためのポンプのことです。

洪水・高潮ハザードマップ

洪水や高潮時の堤防の決壊などによる浸水被害状況の予想図をもとに、避難場所や避難方法などの情報を地域の皆さんに分かりやすく提供し、安全に避難できることを目的に市町村長が作成するものです。

坂路

堤防より居住地側に住んでいる場所から河川敷へ近づきやすくなるように設置されたスロープのことです。

給水制限

渇水などにより、一般家庭、会社、工場などに給水する水の量を制限することです。

郵便はがき

7000914

岡山市鹿田町二丁目四番三十六号

国土交通省中国地方整備局
岡山河川事務所
高梁川みらいプロジェクト 宛

バーコード

料金受取人払

局承認

0000

差出有効期間
平成19年 月 日
まで(切手不要)

【問16】

【問17-1】 ①男 ②女

【問17-2】 ①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代 ⑦70代以上

【問17-3】 (市 町)

【問17-4】 ①5年未満 ②5~10年 ③10~20年 ④20~30年 ⑤30~40年 ⑥40年以上

【問17-5】 ①農業 ②漁業 ③林業 ④会社員 ⑤自営業 ⑥公務員 ⑦学生
⑧主婦 ⑨パート、アルバイト ⑩無職 ⑪その他()

アンケートつづき

問17) あなたご自身のことについてお聞かせください。

問17-1) 性別 ① 男性 ② 女性

問17-2) 年齢 ① 10代 ② 20代 ③ 30代 ④ 40代 ⑤ 50代 ⑥ 60代 ⑦ 70代以上

問17-3) お住まい (市 町)

問17-4) 現在のお住まいの地域での居住年数

① 5年未満 ② 5年~10年未満 ③ 10年~20年未満 ④ 20年~30年未満

⑤ 30年~40年未満 ⑥ 40年以上

問17-5) ご職業 ① 農業 ② 漁業 ③ 林業 ④ 会社員 ⑤ 自営業 ⑥ 公務員 ⑦ 学生

⑧ 主婦 ⑨ パート、アルバイト ⑩ 無職

⑪ その他()



ご協力ありがとうございました。

